

2021年9月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

8月、製造業生産高の増加は緩やかに

主な動向

生産高と新規受注数の増加ペースが鈍化

輸出受注、7か月ぶりに減少

混乱が続く中、サプライヤー納期は過去10年間で最大規模の長期化

2021年8月のデータ収集期間：2021年8月12日～23日。

最新のPMI®データによると、8月は日本の製造業の業況は、改善が鈍化した。企業は生産高と新規受注数の増加が緩やかなペースになったことを報告。新規受注数の増加は1月以来最も小幅だった。製造業は、国内と東南アジアでCOVID-19 (新型コロナウイルス感染症) の感染者数増加が、生産高と需要の増加を妨げたことを指摘した。こうした中、新規輸出受注が今年1月以来初めて減少した。サプライチェーンの混乱も日本の製造業の生産活動を抑制しており、平均納期は2011年の東日本大震災以来最も悪化した。

8月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™ (PMI) (製造業の全体的業況を表す指標) は、7月の53.0から52.7へ若干減少。日本の製造業に対する新型コロナウイルス感染症の影響を反映して、製造業の業況回復は勢いが緩やかになったことを示した。

主要指数が前の月と比較して減少したのは、生産高の上昇の勢いが若干鈍化したことが一因だ。生産高は7か月連続で増加しているが、勢いは全体的に緩やかだった。調査回答企業らは、新型コロナの感染者数増加、原材料の不足、生産の遅延を指摘する一方で、新規受注数が継続的に増加していることを生産高増加の要因に挙げた。

最新調査期間では新規受注数も増加したものの、成長率は1月以来最も小幅だった。企業の実態を見る限り、国内外市場の新型コロナに対する制限措置の延長もあって、顧客の購買意欲は弱まったようだ。さらに、新規輸出売上はアジア太平洋地域における新型コロナ感染者数増加を受けて、年始以来となる縮小傾向へ転じた。

その一方で、8月の雇用者数は5か月連続で増加した。雇用増の勢いは7月から加速し、2020年1月以来最速だった。調査回答企業は、生産高増加に備えて増員したと述べた。新規受注数の増加を受け、受注残は6か月連続で増加している。製造業はこれについて、原材料不足により既存受注分の納品ができなかったとコメントを寄せた。

生産高と新規受注数の緩やかな増加に相まって、購買活動の増加も過去半年間で最も緩やかになった。日本の製造業は、原材料不足と、

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、IHS Markit

コメント

IHS Markitエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「最新のPMIデータは、第3四半期の半ばを通じて日本の製造業で業況の回復が続いていることを指摘した。しかし、企業らは生産高と新規受注数の成長の勢いが鈍化したことを指摘。新規受注数の伸びは1月以来最も小幅だった。これを受けて業況回復の勢いは前回調査期間から弱まった。

日本の製造業は、東南アジア地域における新型コロナ感染者数急増を、国内外需要減退の要因に指摘。実際、新規輸出受注も今年初めて縮小傾向に転じた。

コロナ禍の制限措置と原材料不足によるサプライチェーンの混乱により、生産と新規受注数に影響が出ている。企業らは購買品の調達と納品受領に苦慮していることをコメントに寄せた。8月の平均サプライヤー納期は、2011年の東日本大震災以来最長となった。

日本の製造業はまだまだ楽観的な姿勢を維持しているものの、コロナ禍の影響とサプライチェーンの混乱が続いている現状に慎重な様子をみせ、事業の見通しは1月以来最も低水準となった。」

新型コロナウイルスに対する世界の制限措置により、購買品の調達と入荷に引き続き苦慮していることを指摘。これを反映してサプライヤー納期の長期化は2011年4月以来最悪となった。こうした状況から、企業は既存の完成品在庫を使用して受注に対応したことを報告した。

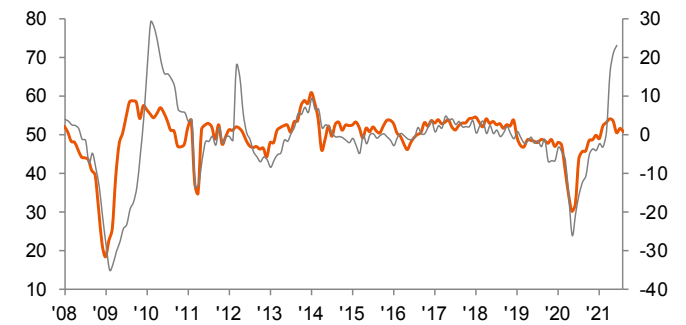
8月も引き続き、原材料価格の値上がり平均間接費を押し続けていくという報告があった。購買価格は過去15か月連続で上昇しており、7月と比較すると勢いは若干緩やかになったものの、全体を通してみると顕著な値上がりだった。一方販売単価は9か月連続で値上がりし、2018年10月以来の速さで上昇した。これは企業が購買価格の値上りの一部を顧客に転嫁しようとしたためだ。

8月はこうした状況を受けて、今後12か月にわたる業況の見通しが悪化した。景況感は全体的に楽観的な姿勢を維持するも、企業らはコロナ禍がいつまで継続するか不透明であることを挙げ、直近7か月の中で最も低水準だった。それでもなお製造業は、コロナ禍が収束すれば業況が広く回復するだろうと確信している。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典：auじぶん銀行、IHS Markit、経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti
エコノミスト
IHS Markit
電話：+44 1344 328 370
usamah.bhatti@ihsmarkit.com

Joanna Vickers
コーポレートコミュニケーション
IHS Markit
電話：+44-207-260-2234
joanna.vickers@ihsmarkit.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数（ディフュージョン・インデックス）を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です：新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2021年8月のデータ収集期間：2021年8月12~23日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらえたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

IHS Markitについて

IHS Markit (NYSE: INFO) は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2021 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、joanna.vickers@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI (購買担当者指数)

「購買担当者指数™ (PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。